

グラフで見る東海経済(2022年4月)

2022年4月26日

調査部 主任研究員 塚田 裕昭

今月の景気判断 ～持ち直しの動きがみられる

【今月のポイント】

- 生産(2月)は、輸送機械が前月の大幅減から反転し、持ち直しの動きがみられる。トヨタの生産計画では、先行き、持ち直しが見込まれているが、部品調達難による下振れ懸念も残る。
- 2月の実質輸出は3ヵ月ぶりに上昇。先行きについては、足下の円安が追い風となるが、供給制約による生産下振れが懸念材料。
- 設備投資は、21年度は増加、22年度は増加幅が縮小となるものの引き続き増加が見込まれている。
- 雇用は、失業率が低下し就業者数が増加するなど持ち直しに動きがみられる。
- 3月の住宅着工は前年比で大幅増となったが、単月の動きであり、弱含みのトレンドに変化はないとみられる。

項目	現状
景気全般	持ち直しの動きがみられる(↑)
生産	持ち直しの動きがみられる(↑)
輸出	持ち直しの動きがみられる(↑)
設備投資	持ち直しの動きがみられる
雇用	持ち直しの動きがみられる(↑)
賃金	弱い動きがみられる
個人消費	持ち直しの動きがみられる
住宅投資	弱含んでいる
公共投資	弱い動きがみられる

注：()内は前月からの変化の方向

景気全般は、「足踏み状態」から上方修正(↑)

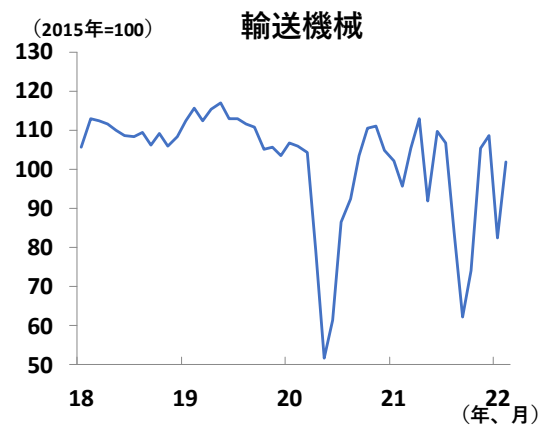
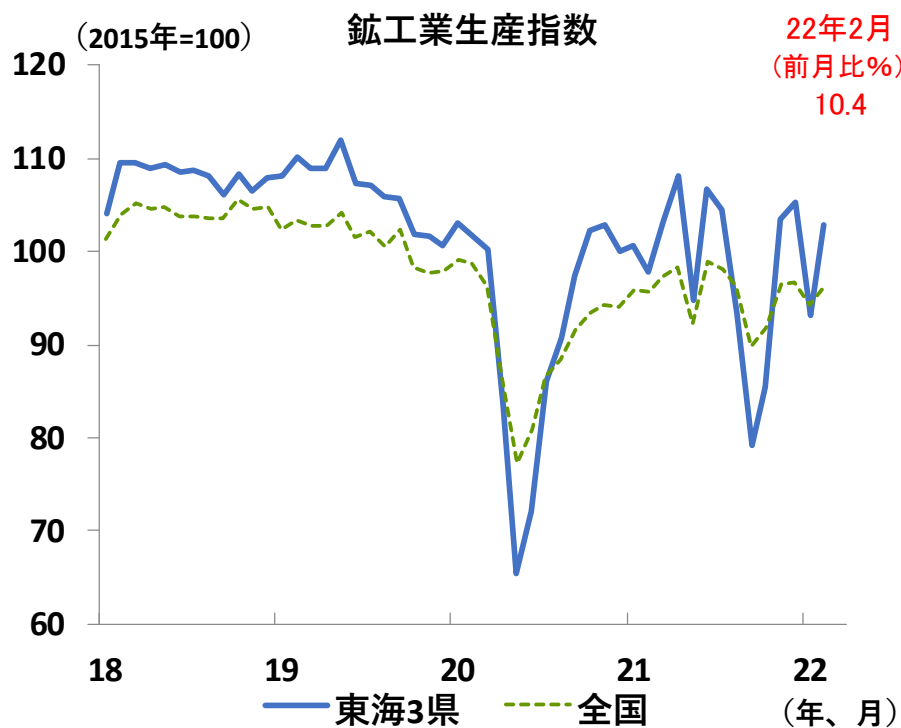
生産は、「足踏み状態」から上方修正(↑)

輸出は、「足踏み状態」から上方修正(↑)

雇用は、「横ばい圏で推移している」から上方修正(↑)

生産

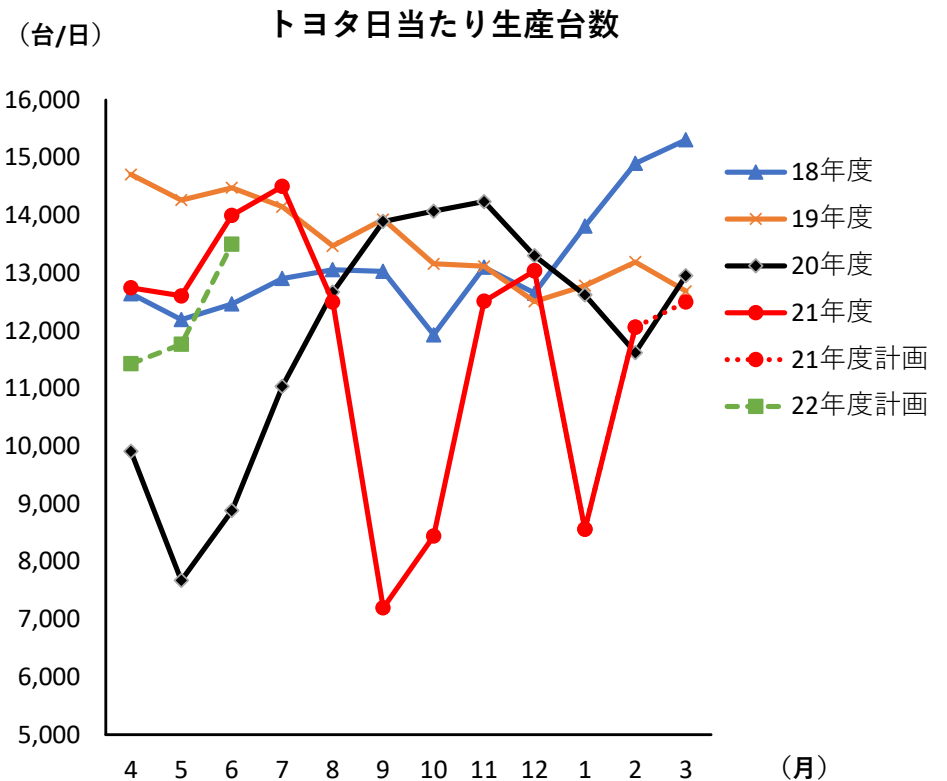
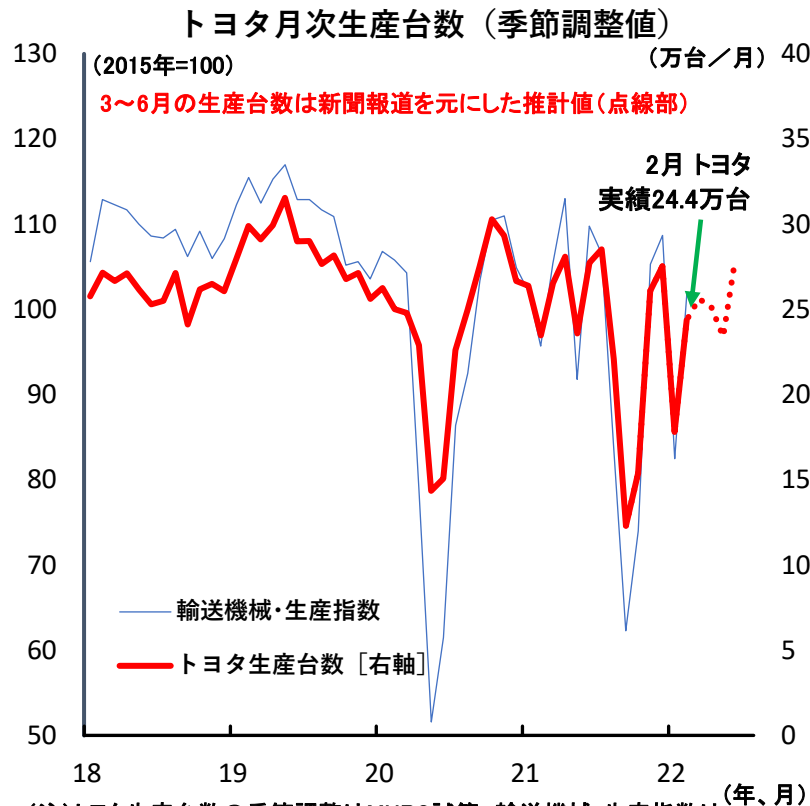
2月の鉱工業生産(東海)は前月比+10.4%と大幅に増加し、持ち直しの動きがみられる。輸送機械が前月の大幅減から反転し、電子部品デバイス、電気機械が高水準を維持した。



(出所) 経済産業省「鉱工業生産動向」

生産（トヨタ生産計画）

2月のトヨタ生産台数(弊社季節調整値)は24.4万台。1月はオミクロン株感染拡大に伴う部品調達難により生産水準が大きく低下したが、2月は計画下振れながら生産増となった。先行きは、内外需要の底堅さを背景に均してみると持ち直していく計画だが、半導体不足による下振れの可能性も。



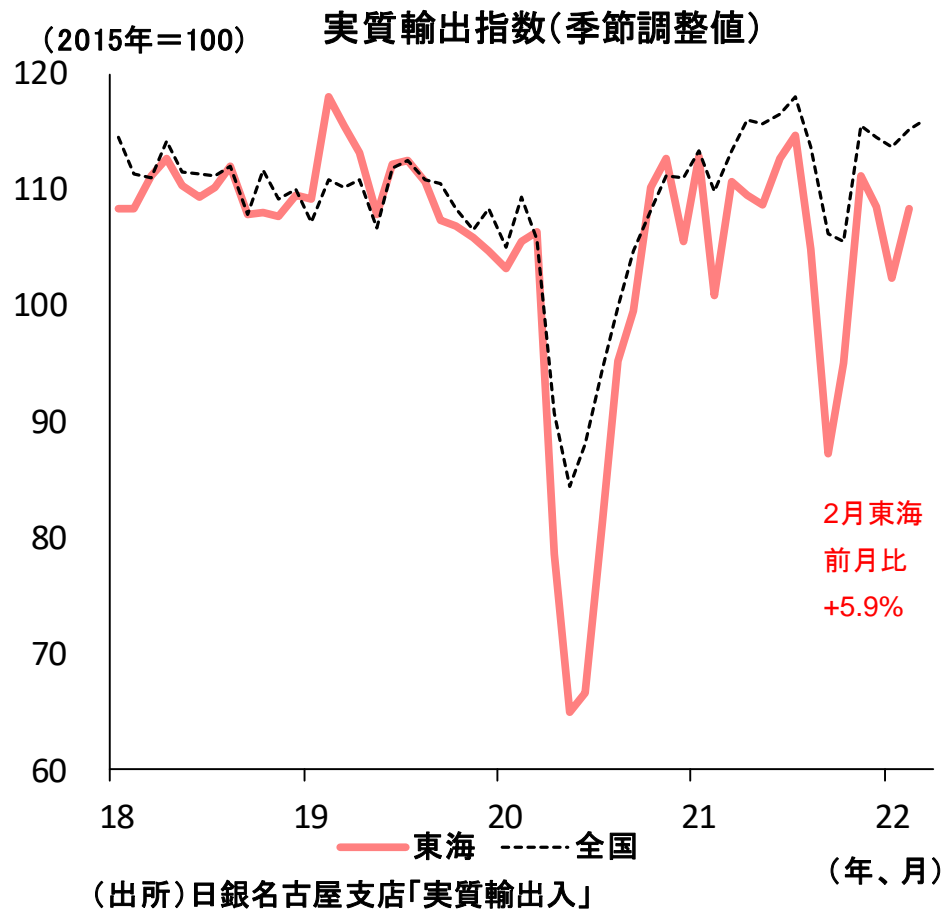
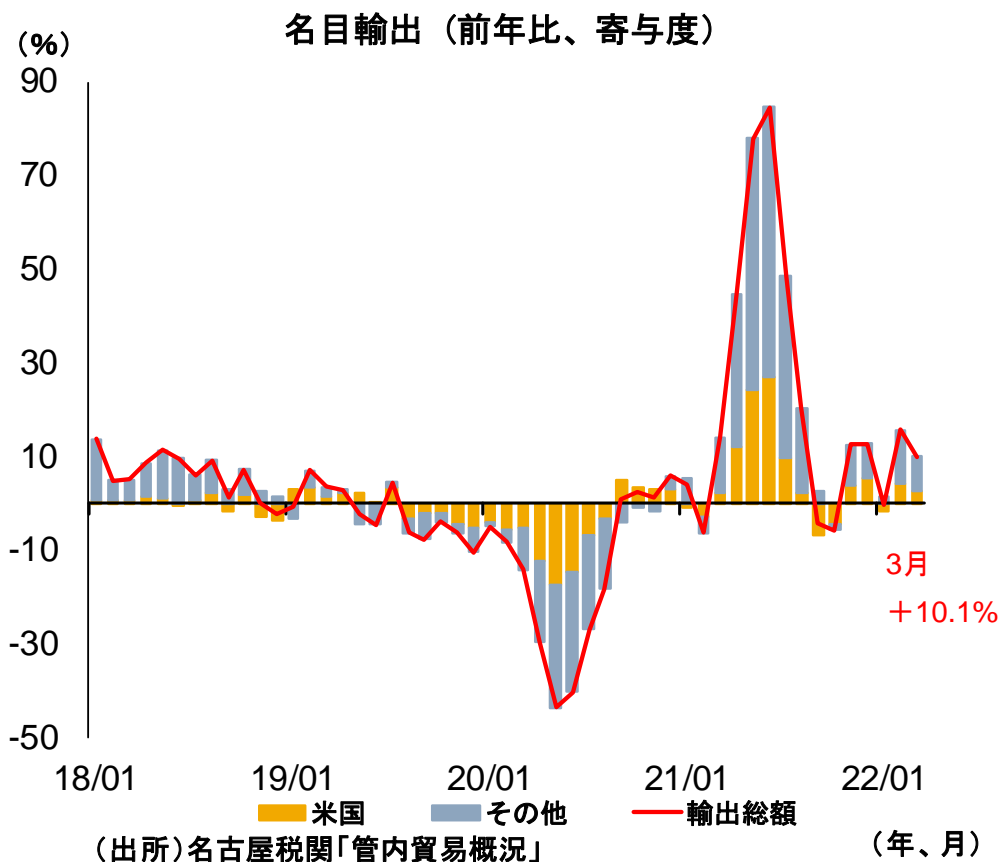
(注)トヨタ生産台数の季節調整はMURC試算、輸送機械・生産指数は東海3県のもの
 (出所)中部経済新聞、鉄鋼新聞、中部経済産業局「鉱工業生産指数」

(出所) トヨタ自動車HP、中部経済新聞、鉄鋼新聞

輸出

3月の名目輸出額は、前年比+10.1%と2カ月連続で増加した(コロナ前の同月である2019年3月比で+7.6%の増加)。地域別では米国、アジア、EU、その他向けのいずれも増加した。品目別では自動車、自動車部品、重電機器などが増加した。

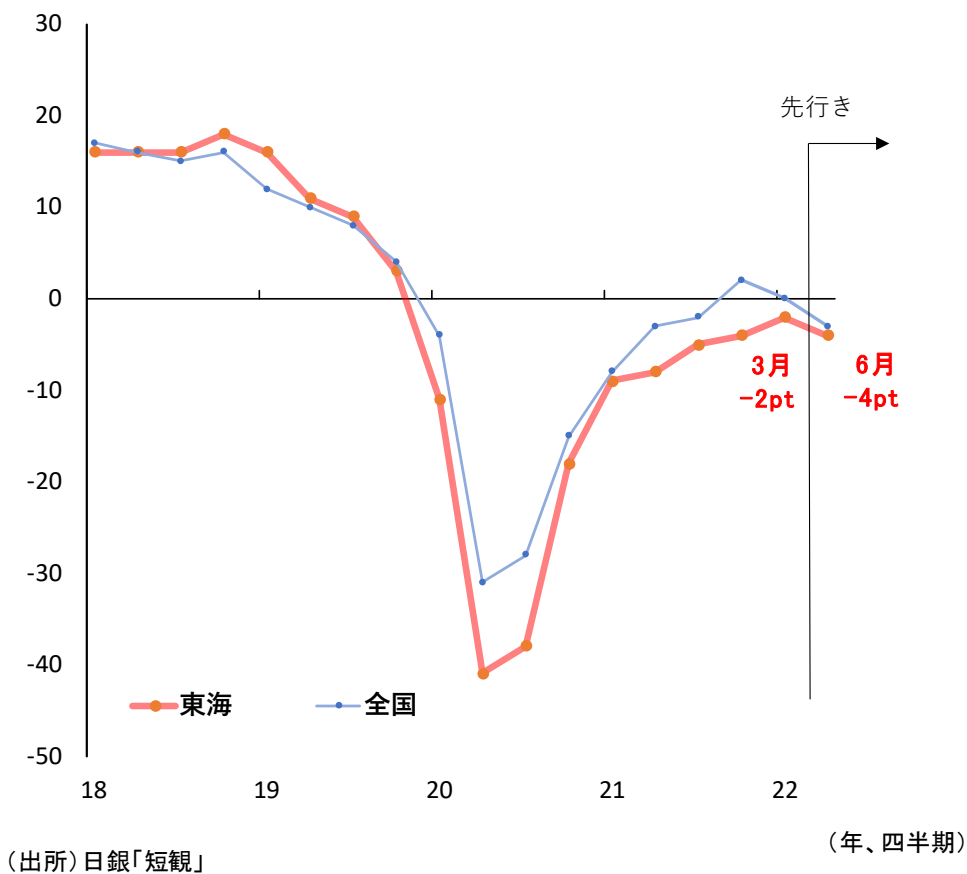
2月の実質輸出指数(季節調整値)は前月比+5.9%と3カ月ぶりに上昇した。



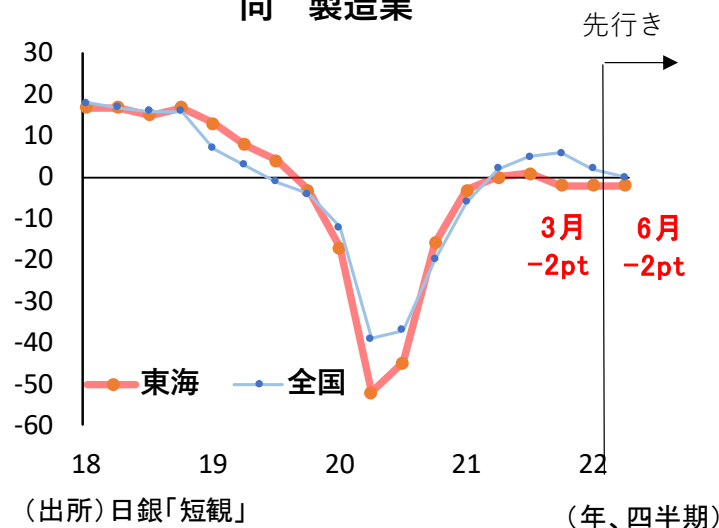
企業景況感(日銀短観)

日銀短観3月調査の業況判断DIIは全産業で-2ptと12月調査(-4pt)から小幅改善した。製造業は-2ptと小幅悪化、非製造業は-4ptと小幅改善したが宿泊・飲食サービスは一段と悪化した。先行きは、製造業で横ばい、非製造業で悪化が見込まれている。

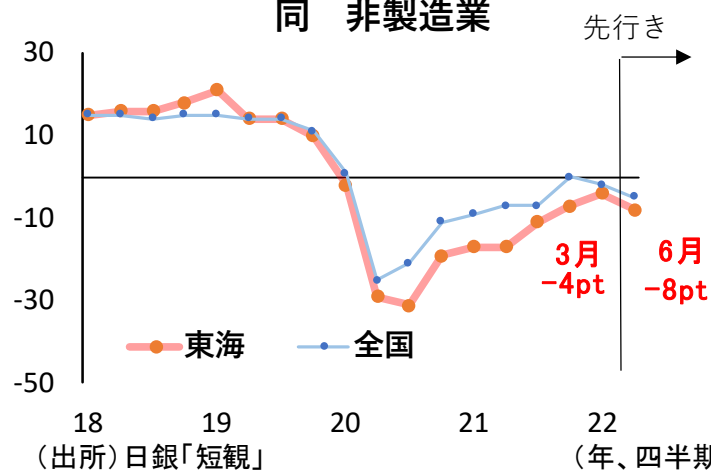
短観 業況判断DII「全産業」



同 製造業

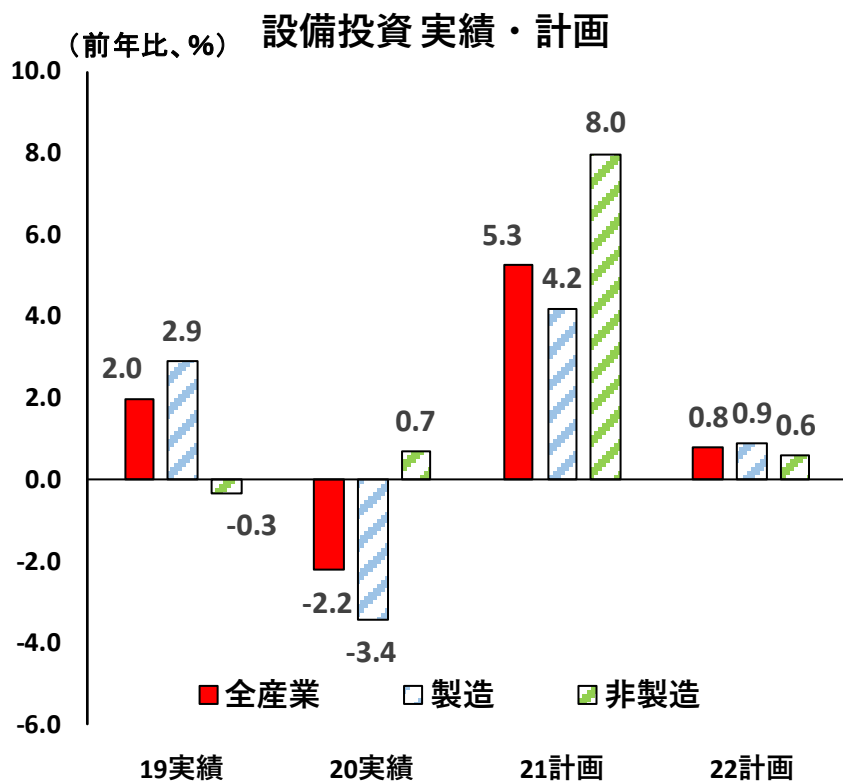


同 非製造業



設備投資

日銀短観3月調査によると、21年度の設備投資計画は、12月調査から下方修正となったが前年比+5.3%と増加が見込まれている。製造業、非製造とも増加の見込み。22年度も増加の計画であるが、伸び率は縮小する見込みである。



(出所)日銀名古屋支店「短観」

(注)含むソフトウェア・研究開発、除く土地投資

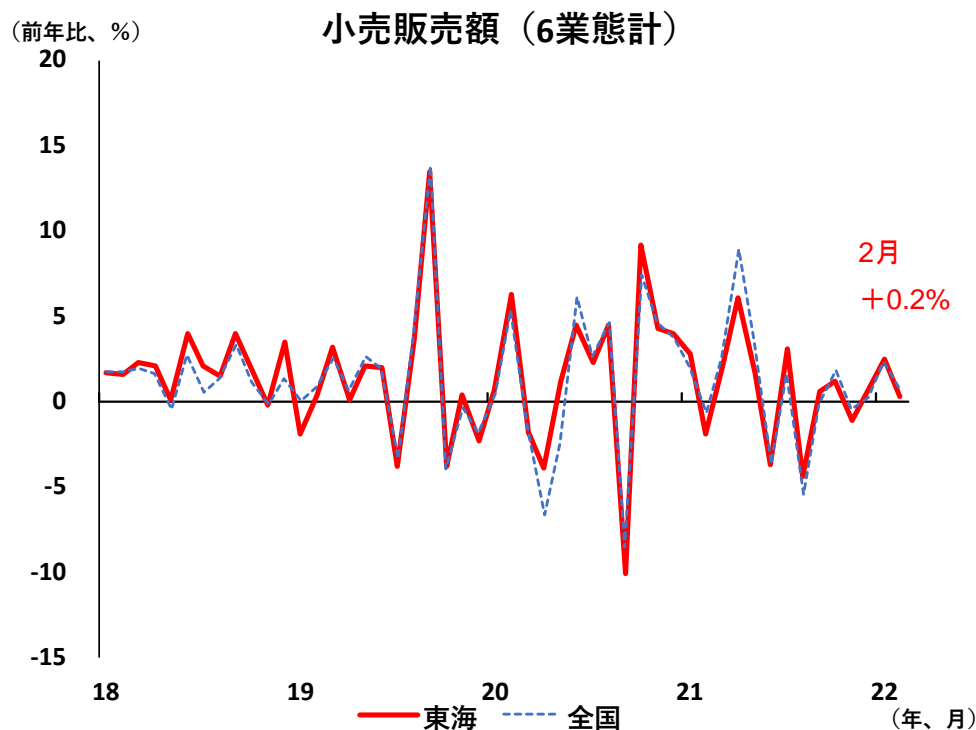
設備投資額 (前年比%)

	20年度実績	21年度計画		22年度計画
		今回調査	(前回調査との差異)	
全産業	-2.2	5.3	(-0.5)	5.8
製造業	-3.4	4.2	(-0.4)	4.6
非製造業	0.7	8.0	(-0.5)	8.5

個人消費(小売売上、自動車販売)

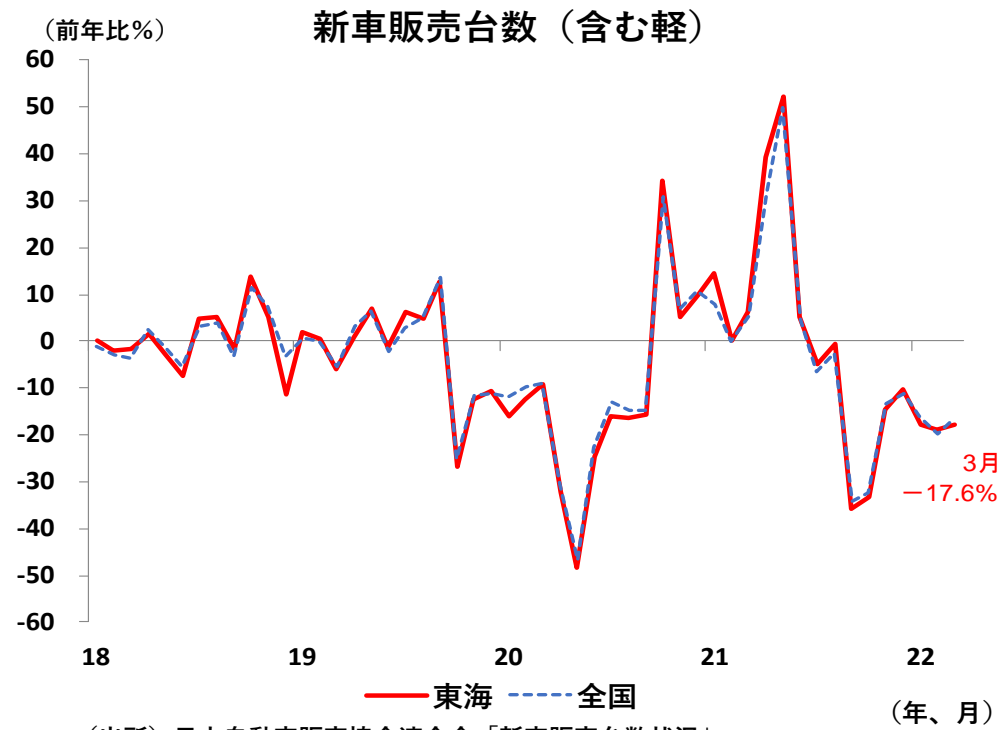
2月の小売販売額は前年比+0.2%と小幅ながら3カ月連続で増加したが、一昨年比では-1.7%と5カ月ぶりに減少した。先行きは、まん延防止等重点措置解除後の人流の戻りがプラス材料となる一方、物価上昇による消費抑制が懸念材料に。

3月の新車販売は、半導体など部品供給不足による生産調整とオミクロン株感染拡大の影響により、前年比-17.6%と9カ月連続で減少した。



(出所) 経済産業省「商業動態統計」

(注) 百貨店、スーパー、コンビニ、ドラッグストア、家電量販店、ホームセンターの合計

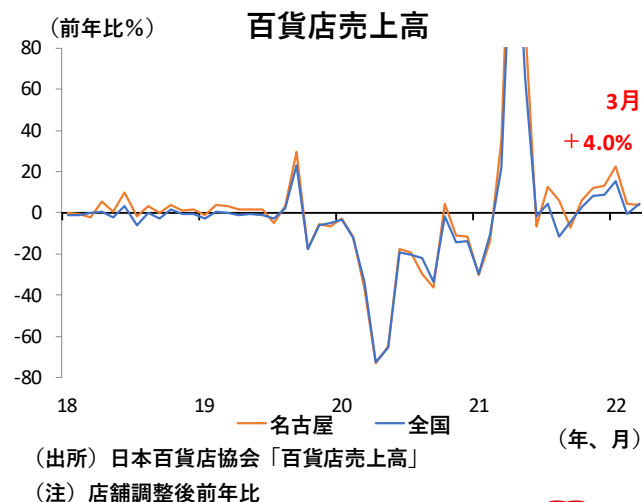
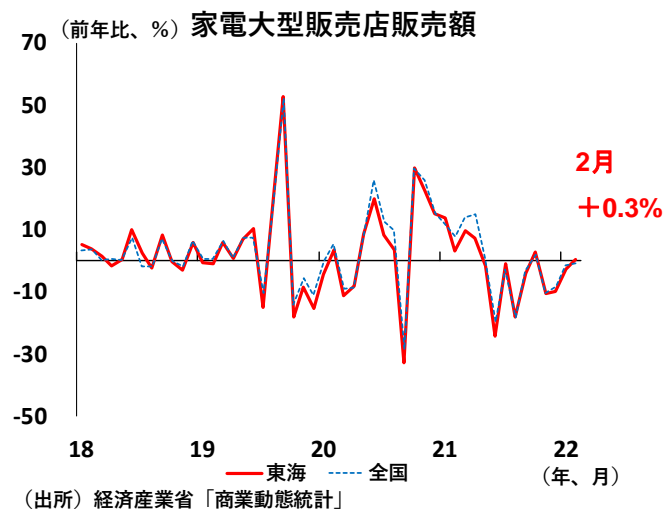
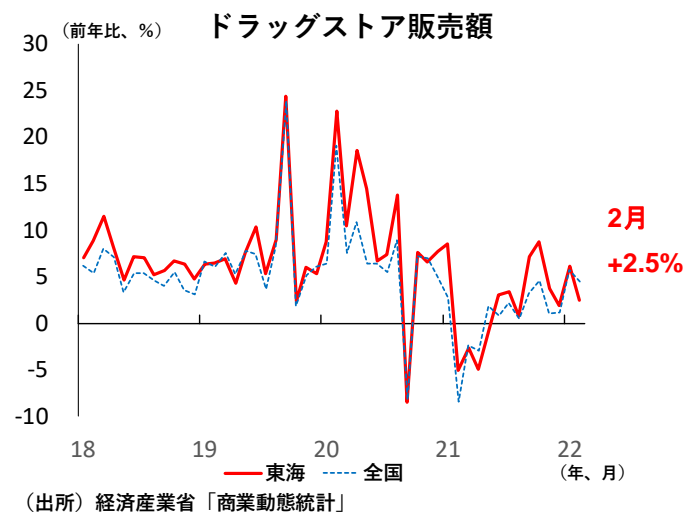
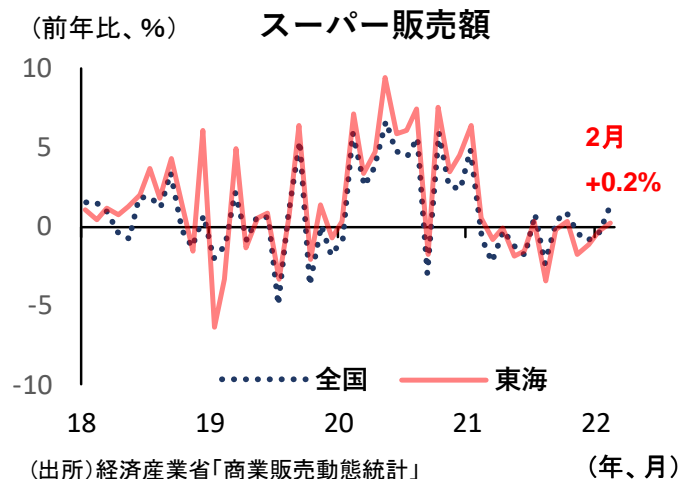


(出所) 日本自動車販売協会連合会「新車販売台数状況」
全国軽自動車協会連合会「軽四輪車新車販売」

個人消費(業態別)

2月の小売販売(東海)は、スーパー、家電販売店、ドラッグストアの3業態が前年比で増加した。

3月の百貨店売上(名古屋)は、前年比+4.0%と6か月連続で増加したが、コロナ前の同月(2019年3月)比では-10.9%と低水準が続いている。



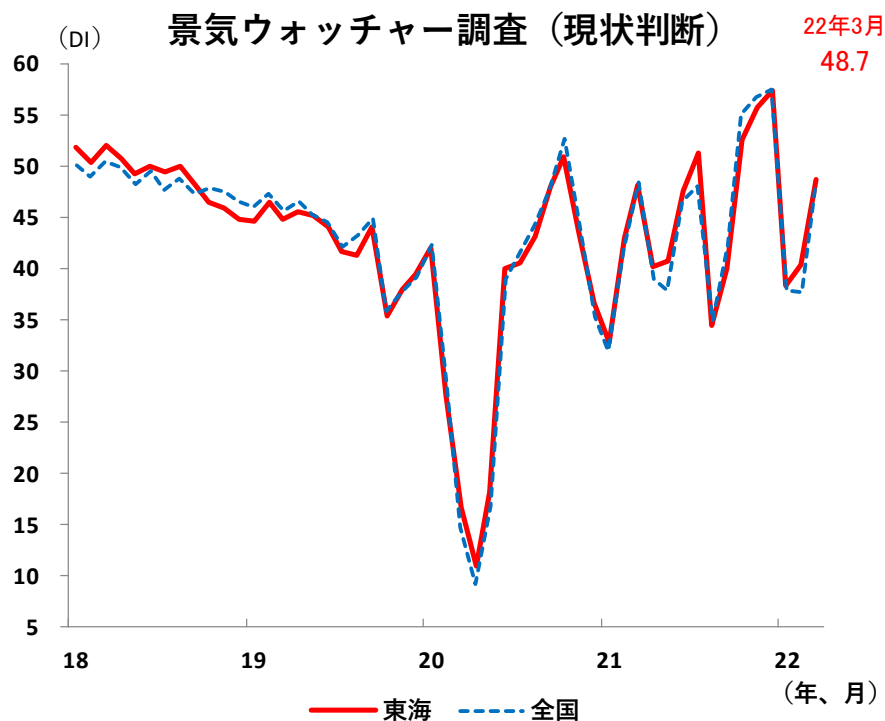
マインド・景況感

3月の消費者態度指数は33.1と3カ月連続で低下し、弱含んでいる。

3月の景気ウォッチャー調査（現状判断DI）は48.7（前月差+8.3%pt）と、まん延防止重点措置が解除されたことで上昇した。



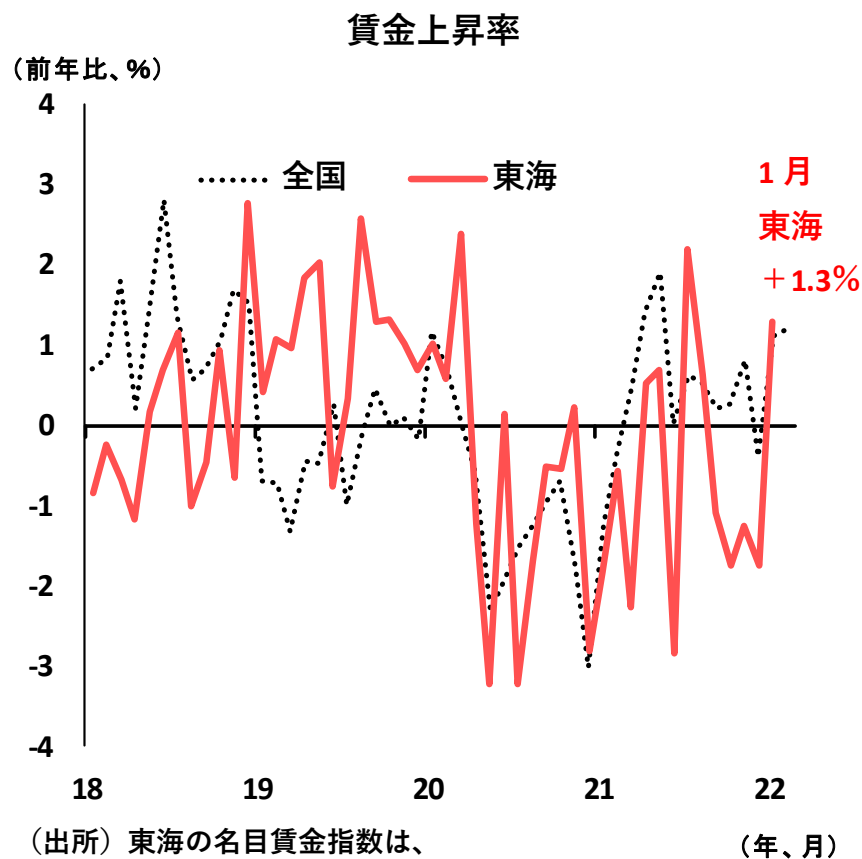
(注)東海の季節調整値はMURC試算
(出所)内閣府「消費動向調査」



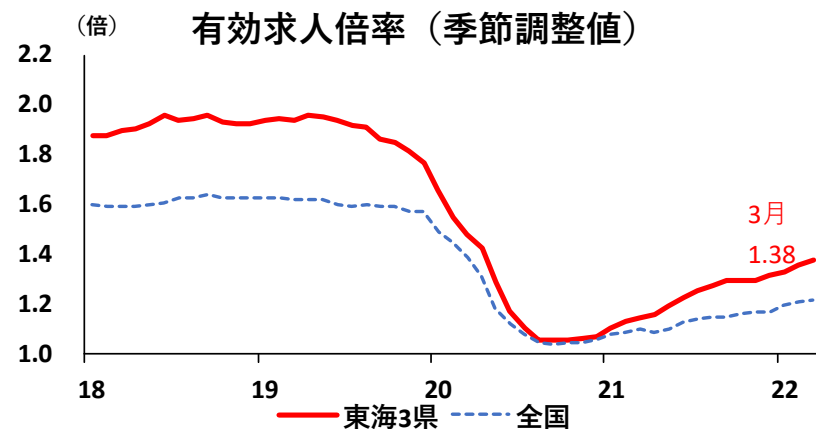
(出所)内閣府「景気ウォッチャー調査」

賃金・雇用

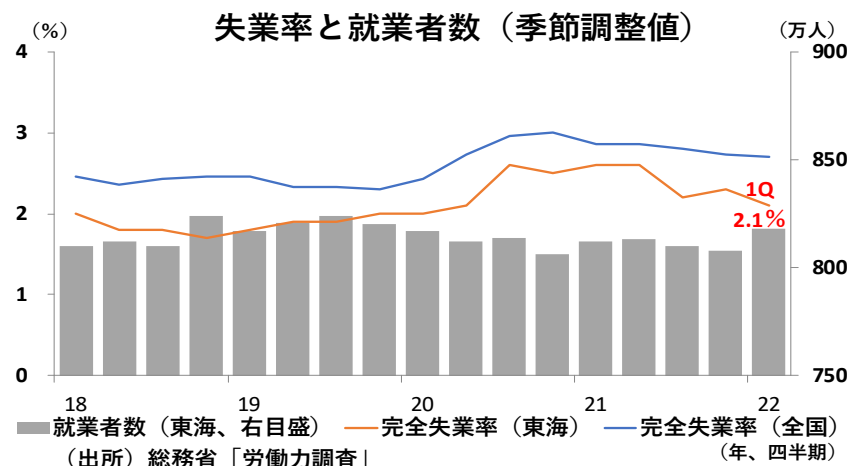
1月の名目賃金は、前年比+1.3%と5ヵ月ぶりに上昇した。3月の求人倍率は1.38と前月から小幅上昇。全国に比べ求職者数増加の度合いが低く、求人倍率は高めで推移している。22年1-3月期の失業率は2.1%と低下。就業者数は増加した。



(出所) 東海の名目賃金指数は、
愛知、三重、岐阜の指数よりMURC作成



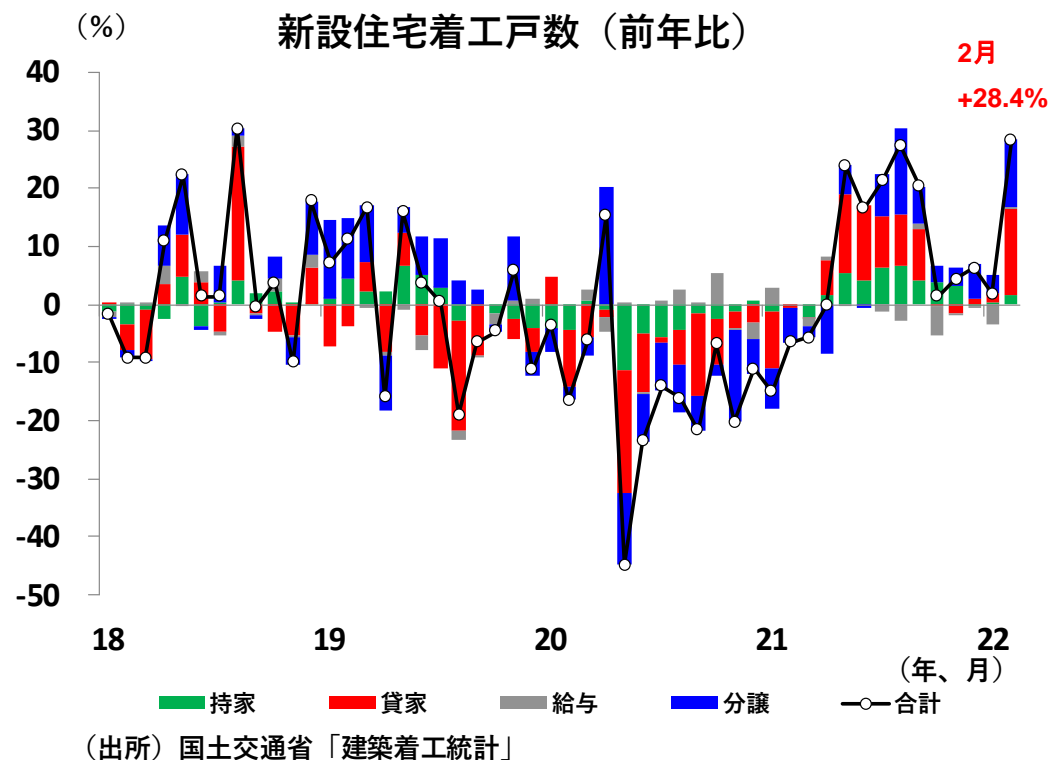
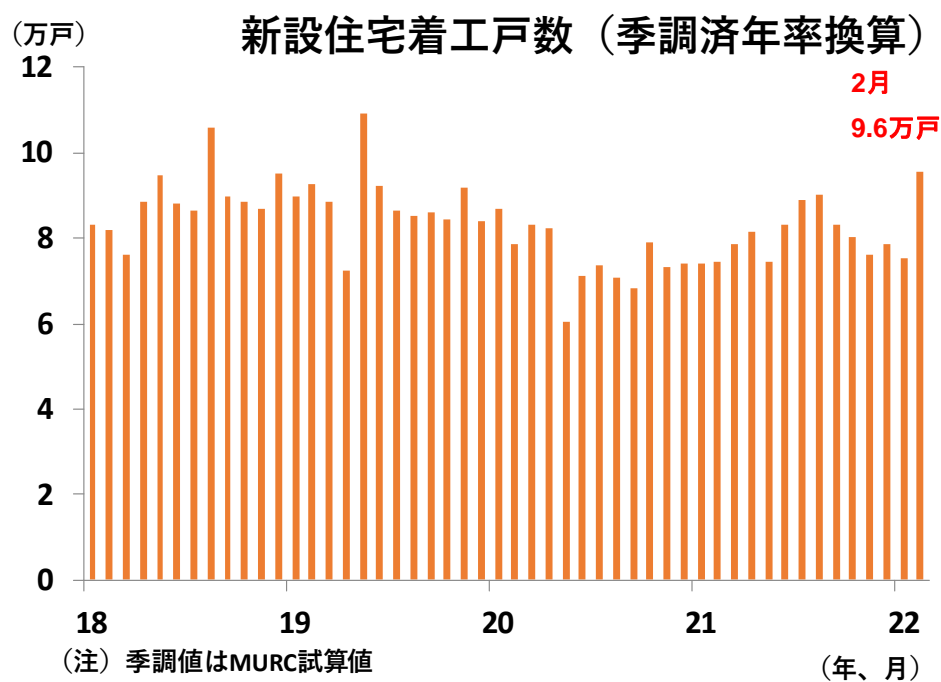
(出所) 厚生労働省「一般職業紹介状況」



(出所) 総務省「労働力調査」

住宅投資

2月の住宅着工は季調・年率で9.6万戸と大幅に増加した。前年比で見ると+28.4%と大幅増となった。愛知県の貸家、分譲マンションが大幅に増加したが、単月要因の可能性が高い。



ご利用に際してのご留意事項を記載していますので、ご参照ください。

(お問い合わせ)調査部 塚田 TEL:03-6733-1626 E-mail:chosa-report@murc.jp

〒105-8501

東京都港区虎ノ門5-11-2 オランダヒルズ森タワー

－ ご利用に際して －

- 本資料は、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません
- また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一的な見解を示すものではありません
- 本資料に基づくお客様の決定、行為、及びその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず出所:三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要ですので、当社までご連絡ください